

質問

60歳代の妻が大腸がんを診断され、抗がん剤治療を行うことになりました。薬の説明書に、手足症候群との副作用が書いてありました。どんな副作用で、対処方法はどのようなものですか。

手足症候群



柴田 高洋

徳島大学病院
がん専門薬剤師

回答

手足症候群は、手や足など四肢の末端において皮膚の細胞がダメージを受けて起きる皮膚症状の副作用です。チクチクする知覚過敏があり、発赤、色素沈着、腫脹なども見られます。

直接生命にかかわる副作用ではありません。それでも重篤化すると、物がつかめなくなったり、歩行が困難になったりするくらいに痛みが起きて、日常生活に大きな支障が出ます。原因になる薬剤は、フッ化ピリミジン系の抗がん剤（フルオロウラシル、カペシタビンなど）やマルチキナーゼ阻害薬（レゴラフェニブなど）です。

詳しいメカニズムは明らかになっていないものの、発症時期は、マルチ

知覚過敏 生活に支障も



キナーゼ阻害薬が投与開始から1、2週間。フッ化ピリミジン系の抗がん剤が2カ月前後とされています。

手足症候群に対する確立された治療方法はなく、症状を悪化させないことが大切です。最も重要な予防策が保

手を保護するために



水を使うときは保湿剤を塗り木綿の手袋の上にゴム手袋をする

足を保護するために



足に合ったやわらかい靴を選ぶ やわらかい中敷きやパットをあててもよい



家の中ではスリッパをはく

がん何でもクイズ

コロナ禍で〇〇〇〇が増加し、がん検診受診者数が減少。〇〇〇〇には何が入るか。

- ①受診嫌い ②受診控え ③在宅勤務 行こうよ！がん検診

湿です。乾燥は皮膚の細胞の成長に乱れを起し、摩擦などの物理的な刺激が加わると、症状がより悪化することが知ら

れています。しっかりと保湿し、刺激を避けることが大事です。

保湿剤の分量は、両方の手のひらに対して、人さし指の先から第1関節くらいまで出した量が目安です。病院では尿素含有製剤やヘパリン類似物質含有製剤などを処方することが多いです。市販の塗り心地のいい肌合ったハンドクリームを使用しても構いません。

手洗いはもちろん、足底についても、朝、夕、入浴後や就寝前など1日3〜5回くらいを目安に保湿剤を塗りましょう。

それでも痛みを伴うなど症状が悪化した場合には、ステロイド外用剤を使用したり、減量、休薬したりすることで、副作用を軽減することができます。

皮膚障害が重篤化すると治りにくくなります。無理をせず早めに医療スタッフに相談してください。

保湿剤活用 刺激避けて

(第4土曜掲載)

がんに関する質問は 徳島がん対策センター 電話 088 (634) 6442 (平日午前8時半から午後5時まで)

